

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ C組

教科担当者：（A組：小川）（C組：小川）

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語』）

教科

国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	現代の国語	の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
		【学びに向かう力、人間性等】
		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	学	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	A 単元 1 ことばをひらく 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材 「変わる」ことを楽しもう ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B 単元 3 わかりやすく説明する 【知識及び技能】 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔1)オ〕 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか 生きることと食べることの意味 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔1)オ〕 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○	○	1

2 学 期	C 単元 3 わかりやすく説明する 【知識及び技能】 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔(1)オ〕 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 ナンバーワンか、オンリーワンか ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。〔(1)オ〕 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	○	○	○	8
	D 単元 5 論理を読み取る 【知識及び技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔(1)カ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 水の東西 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔(1)カ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○	○	1
	E 単元 5 論理を読み取る 【知識及び技能】 ・対比、例示、言い換えなどについて理解している。〔(1)カ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、対比の関係、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	・指導事項 ・教材 商品と贈り物の違い ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・対比、例示、言い換えなどについて理解している。〔(1)カ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、対比の関係、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	○	○	○	11
2 学 期	F 単元 8 情報と向き合う 【知識及び技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。〔(2)エ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。〔C(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 視点や根拠に注意し、図表などから必要な情報を読み取ろうとしている。	・指導事項 ・教材 情報の力関係 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。〔(2)エ〕 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。〔C(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 視点や根拠に注意し、図表などから必要な情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○	○	1

3 学 期	G 単元 10 社会に目を向けて 【知識及び技能】 ・例示や言い換えなどの述べ方について理解している。〔1)カ〕 ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根拠になる具体例についてとらえている。〔C (1)ア〕 ・「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。〔C (1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張とその根拠をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	・指導事項 ・教材 何のために「働く」のか ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・例示や言い換えなどの述べ方について理解している。〔1)カ〕 ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。〔2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根拠になる具体例についてとらえている。〔C (1)ア〕 ・「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。〔C (1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張とその根拠をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	○	○	○	15
	H 単元 2 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	・指導事項 ・教材 ことばの使い分け ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○	○	1
	I 単元 10 社会に目を向けて 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成に着目しながら、筆者の主張をとらえている。〔C (1)ア〕 ・「読むこと」において、筆者の主張をふまえて自分の考えを深めている。〔C (1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	・指導事項 ・教材 自分の考えをつくるために ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成に着目しながら、筆者の主張をとらえている。〔C (1)ア〕 ・「読むこと」において、筆者の主張をふまえて自分の考えを深めている。〔C (1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	○	○	○	11
3 学 期	J 単元 2 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	・指導事項 ・教材 ことばを使いこなそう ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	9

K 単元 2 日本語を使いこなす	【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔(1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	・指導事項 ・教材 正しく書こう ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔(1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1

合計
117

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 A組～ C組
教科担当者：（A組：神田・鈴木）（C組：神田・鈴木）
使用教科書：（東京法令出版 公共 二宮書店 基本地図帳）
教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとなる概念や理論及び、倫理、政治・経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実をもとに概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に調べられる技能を身につけさせる。	現実世界の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。また、構想したことを発表する力を養う。	より良い社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	A「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通して他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ①社会のなかの私たち ②日本の文化と社会 ③青年期とは ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	A「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通して他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結びつくことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ④自己形成の課題 ⑤ライフ・キャリアの形成 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	11
	A「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 人間は個人として尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し合うことができる社会的な存在である事や先人の取り組みや知恵に触れることを通して他者の価値観を尊重できる存在であることを理解する。また、これらのことを学ぶことが自らのキャリア形成に結び付くことに気づく。 【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	・指導事項 ⑥社会の多様性 ⑦宗教と文化 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 より良い社会とはどのような社会かを考え、幸福・公正・正義の概念を理解したか。先哲の考えや伝統・文化を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福・自由・正義・公正の視点をを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。他者との協働により当事者として国家・社会の公共的な空間をつくる存在であることを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 以後の学習において、幸福・自由・正義・公正の視点を活用し、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	B 単元「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」 【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得のできる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の追求や解決する活動に対し主体的に参加し、他者の意見を受容的態度で傾聴している。	・指導事項 ①幸福とは ②自由とは ③正義とは ④公正とは ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 哲学者の考え方の共通点や相違点を適切に理解する。 【思考・判断・表現】 思考実験などを用いて、自己の意見と他者の意見を融合させ、新たな考察をする活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 幸福・自由・正義・公正といった人によって答えが異なる概念に対し、自分の考えを導くことを主体的に行っている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元「公共的な空間における基本原理と日本国憲法」 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本原理について考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人間の尊重や平等な基本的原理などについて理解し、考察する態度を身に付ける。	・指導事項 ①人間の尊厳と平等 ②民主政治と国民主権 ③消極的自由と公共の福祉 ④積極的自由と義務 ⑤法の支配と人権保障 ⑥平和主義 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務が日本国憲法のどこに根拠として記されているか理解している。 【思考・判断・表現】 日本国憲法で人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務が記されている理由を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理が日本国憲法とどのように関連しているかを主体的に考えている。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	D 単元「日本の政治機構と政治参加」 【知識及び技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治機構と政治参加について幸福・自由・公正・正義などの視点を用いて事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚を深める。	・指導事項 「日本の政治機構と政治参加」 ①法の機能と限界 ②国会の運営と権限 ③内閣と行政の民主化 ④世界の政治体制 ⑤裁判所と人権保障 ・教材 教科書、一人1台端末、板書、映像資料	【知識・技能】 国会・内閣・裁判所の機能や役割、地方自治制度や国民の政治参加のあり方についての知識を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 日本の政治機構と政治参加について現在の政治状況を踏まえて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 ニュース等で知った情報を学習内容に結びつけようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ C 組
教科担当者： 福地
使用教科書：（ 新 高校の数学Ⅰ（数研出版） ）
教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程と結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におきかえたりするなどして、既に学習した計算の方法と関連付けて、処理する力を養う。 次に、中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。また、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	1. 計算の基本	【知識・技能】 ○正の数、負の数の加法、減法、乗法の計算ができる。 ○分数の計算ができる。 ○四則の混じった計算の優先順位にしたがって計算できる。 【思考・判断・表現】 ○四則が混じった計算の優先順位を正確に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○これからの学習の基礎となる数の計算方法に関心をもち、積極的に習得しようとする。	○	○	○	3
		2. 単項式と多項式	【知識・技能】 ○文字を使った式で数量を表すことの必要性を理解している。 ○単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解している。 ○多項式の同類項をまとめ、次数の大きい順に整理することができる。 【思考・判断・表現】 ○ある数量について、文字を使った式で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
		3. 多項式の加法と減法	【知識・技能】 ○多項式の加法、減法の計算ができる。	○			3
	定期考査			○	○	○	1
		4. 多項式の乗法	【知識・技能】 ○指数法則を理解し、単項式の乗法の計算ができる。 ○指数法則や分配法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ○式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	4
		5. 展開の公式	【知識・技能】 ○展開の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 ○展開の公式の導き方を、面積図を使って考察することができる。	○	○		3
		6. 因数分解	【知識・技能】 ○共通因数をみつけ、共通因数のくくり出しができる。 ○因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 ○たすき掛けの仕組みを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	○	○	○	5

2 学 期		7. 展開、因数分解の工夫	【知識・技能】 ○文字のおきかえを利用して、展開や因数分解を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ○文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○おきかえなどの工夫によって、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	3
	定期考查			○	○	○	1
		8. 根号を含む式の計算	【知識・技能】 ○平方根の意味を理解している。 ○根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。 ○分母を有理化することができる。 【思考・判断・表現】 ○根号を含む式の乗法の計算に、展開の公式を適用することができる。	○	○		5
		9. 実数	【知識・技能】 ○有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 ○小数で表したときの特徴から、分数を有限小数と循環小数に分類することができる。 ○絶対値の意味と記号表示を理解している。 【思考・判断・表現】 ○実数を数直線上の点の座標として考察することができる。 ○実数の絶対値を、数直線上で原点からの距離として考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	○	○	○	2
	第2節 1次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	1. 1次方程式	【知識・技能】 ○方程式における解の意味を理解し、1次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○日常の問題を解決するのに、1次方程式を活用することができる。	○	○		2
		2. 不等式	【知識・技能】 ○不等号の意味を理解している。 ○不等式が値の範囲を表すことを理解し、その範囲を数直線上に表すことができる。 ○不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ○数量の大小関係を式で表現することができる。 ○不等式の性質を、数直線上の点と対応させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○不等式の性質について、等式の性質と比較して考察しようとする。	○	○	○	3
		3. 不等式の解	【知識・技能】 ○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 ○日常の問題を解決するのに、1次不等式を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○1次不等式の解き方について、1次方程式の解き方と比較して、考察しようとする。	○	○	○	4
	定期考查			○	○	○	1
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	1. 関数	【知識・技能】 ○関数について理解している。 ○関数の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○日常の事象の中に関数を見つけようとする。	○	○	○	2
		2. 1次関数のグラフ	【知識・技能】 ○座標について理解している。 ○対応表を利用して、1次関数のグラフをかくことができる。 ○傾きと切片に着目して、1次関数のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ○関数を表、式、グラフによって考察することができる。 ○$y=ax+b$のグラフを$y=ax$のグラフをy軸方向に平行移動したものとみて考察することができる。	○	○		2
		3. 2次関数のグラフ(1)	【知識・技能】 ○放物線の形や軸・頂点について理解している。 ○$y=ax^2$のグラフをかくことができる。 ○$y=ax^2+q$のグラフをかくことができる。 ○$y=a(x-p)^2$のグラフをかくことができる。 ○$y=a(x-p)^2+q$のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 ○$y=a(x-p)^2+q$のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○放物線のもつ性質に興味・関心をもち、自ら調べようとする。	○	○	○	5

3 学 期		4. 2次関数のグラフ(2)	【知識・技能】 ○ ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 ○平方完成を利用して $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかくことができる。	○			6
	定期考査			○	○	○	1
	第2節 2次関数の値の変化 2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	1. 2次関数の最大値、最小値	【知識・技能】 ○2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 ○平方完成を利用して、2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 ○2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ○日常における最大・最小の問題の解決に、2次関数を活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2次関数の最大・最小の問題を、図をかくて視覚的に考察しようとする。	○	○	○	6
		2. グラフと2次方程式	【知識・技能】 ○因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ○解の公式を利用して2次方程式を解くことができる。 ○2次関数のグラフとx軸の共有点のx座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。	○	○	○	6
		3. グラフと2次不等式	【知識・技能】 ○2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解くことができる。 ○式を解きやすい形に変形してから2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○2次不等式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ○2次不等式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計 78

高等学校 令和7年度（1学年） 教科

理科

科目 科学と人間生活

教科：理科

科目：科学と人間生活

単位数：2

単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～

C 組

教科担当者：（A組：上野）

（C組：上野）

使用教科書：（数研出版 科人704 『科学と人間生活』）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解できている。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	中学校の復習 力のはたらき 【知識及び技能】 力についての基礎的な概念や原理・法則などを理解できているとともに、力とばねの伸びの関係をグラフ化したり、2力のつり合う条件について科学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 力のはたらきによって起こる現象の要因や規則性を考察したり、実験結果や考察などをほかの人に伝えることを意識して表現したりことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容に興味や関心を持ち、粘り強く実験し、科学的法則を生活に生かそうとする態度、実験の過程を振り返って評価しようとする態度を身に付ける。	【指導事項】 - 身近に生じるさまざまな力 - 重力と重さ、質量の違い - 力の作図 - つりあう2つの力の関係 - ばねに生じる力と伸びの関係 - 圧力（大気圧・水圧） 【教材】 - 教科書 - 授業プリント - 一人1台端末	【知識・技能】 - ばねばかりを使って重力の大きさを調べることができる。 - ばねの伸びと力の大きさ（物体の重さ）の関係をグラフ化することができる。 - 力を矢印を使って表すことができる。 2力のつり合いを矢印を使って表すことができる。 【思考・判断・表現】 - 物体が力を受けているときに見られる現象を説明できる。 - ばねの伸びと力の大きさ（物体の重さ）についての実験結果から比例関係を見出すことができる。 2力がつり合う時の条件を説明することができる。 - 身近な力について調べたものを自分なりに記述することができる。 「質量」と「重さ」の概念を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 自分たちで考えた方法で、未知の物質 X の重さを粘り強く求めようとしている。 - ばねの伸びの測定やグラフの正確性を検討、改善しようとしている。 - 身近にはどのような力があるか考え、ICT など活用して調べようとしている。	○	○	○	7
	序章 科学技術の発展 【知識及び技能】 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にできたことや人間生活に不可欠であることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展の歴史について関心を持ち、自ら調べ学ぶ態度を養う。	【指導事項】 - 情報伝達技術の発展 - エネルギー資源の活用と交通手段の発展 - 医療技術の発展 【教材】 - 教科書 - 授業プリント - 一人1台端末	【知識・技能】 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に理解できている。 【思考・判断・表現】 科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にできたことや人間生活に不可欠であることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展の歴史について、意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	材料とその利用 【知識及び技能】 鉄、銅、アルミニウムの性質、用途、製錬の方法について理解できている。 - 金属の腐食（さび）のしくみと、その防止について理解できている。 - プラスチックが、単量体が重合してできる高分子化合物であることを理解できている。 - プラスチックの化学構造について理解し、燃焼により生じる物質について理解できている。 - 身のまわりのプラスチックの利用例について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 金属が性質を示すしくみや金属結合による構造について、自由電子と関連させて説明できる。 - 鉄・銅・アルミニウムの用途について、各金属の性質と関連させて説明できる。 - 金属がさびるしくみについて、金属のイオンになりやすさと関連して考察できる。 - プラスチックの用途について、プラスチックの性質と関連させて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 材料とその再利用について学習した内容を、日常生活における身近な製品や環境問題などと結びつけ、意欲的に理解しようとしている。	【指導事項】 - プラスチックの特徴 - プラスチックの分類と用途(1) - プラスチックの分類と用途(2) - さまざまなプラスチック - 金属と人間生活 - 金属とその製錬 - 金属のさびと合金 - 資源の再利用 【教材】 - 教科書 - 授業プリント - 一人1台端末	【知識・技能】 - 鉄について、その性質や製錬方法、利用法などについて理解している。 - プラスチックやその原料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることの知識を身につけている。 - 高吸水性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。 【思考・判断・表現】 - プラスチックの性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考できる。熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。 - アルミニウムと銅について、その性質や製錬方法、利用法などを、実験・観察を通して科学的に理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 - 資源の再利用方法に関心を抱き、特にプラスチックがどのように再利用されているかを理解している。金属とガラスの再利用を学び、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	微生物とその利用 【知識及び技能】 ・私たちの身のまわりには無数の微生物が存在することを実験を通して理解できている。 ・微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解できている。 ・目に見えない微生物の存在を認識するに至った科学史を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発酵食品の生産には微生物が利用されることを、食品中の微生物の観察を通して考えさせる。 ・乳酸発酵とアルコール発酵が起こる際の反応を理解できているとともに、それぞれを利用してつくられる発酵食品について学習させる。 ・ワクチンや抗生物質などがどのような物質であるのかを理解できているとともに、それらの医薬品の生産に微生物が利用されていることを学習させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分解者としての微生物のはたらきを理解できている。 ・炭素や窒素の循環の概要とそれに関わる微生物の役割を理解できている。 ・微生物による分解によって自然浄化が行われていることや、微生物の分解能力を利用した浄化が試されていることを学習させる。	【指導事項】 1.身のまわりの微生物 2.微生物とその発見の歴史 3.発酵食品への微生物の利用 4.乳酸発酵とアルコール発酵 5.医薬品への微生物の利用 6.生態系における微生物 7.環境の浄化と微生物 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末	【知識・技能】 ・微生物の生息場所や種類について理解できている。 ・微生物に関わる一連の科学史を理解できている。 ・発酵および発酵食品について理解できている。 ・乳酸発酵およびアルコール発酵について理解できている。 ・ワクチンや抗生物質などの医薬品の製造に微生物が関わっていることを理解できている。 ・炭素循環と窒素循環に微生物が関わっていることを理解できている。 ・汚水や環境の浄化に微生物が利用されていることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・微生物を培養する実験から、微生物が生息する場所について考察できる。 ・微生物の科学史についての学習を通して、目に見えない微生物を調べる方法について考察できる。 ・発酵食品に含まれる微生物の観察を通して、発酵食品と微生物との関わりについて考察できる。 ・アルコール発酵の実験を通して、アルコール発酵の反応について説明できる。 ・土壌中の微生物を確認する実験を通して、生態系における微生物の役割を説明できる。 ・活性汚泥の観察を通して、下水処理のしくみについて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・微生物が人間生活のさまざまな場面に役立っていることを意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	熱の性質とその利用 【知識及び技能】 ・温度は何を表すものなのか理解できている。 ・熱容量と比熱について理解できている。 ・電力量と電力の定義について学習させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物体をつくる粒子が熱運動をしていることを、実験を通して理解できている。 ・熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか理解できている。 ・物質の三態、融解熱・蒸発熱について、物質をつくる粒子に着目して理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・エネルギーに関心を持ち、さまざまな種類に分類し考えさせる。 ・可逆変化と不可逆変化は、それぞれどのような変化なのか考えさせる。 ・どのような方法で電力を生み出しているか考えさせる。	【指導事項】 1.温度と熱運動 2.熱容量・比熱 3.熱の伝わり方 4.仕事や電流と熱の発生エネルギー 5.移り変わり 6.熱エネルギーの利用 7.エネルギー資源の利用 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末	【知識・技能】 ・セルシウス温度と絶対温度について理解できている。 ・熱平衡とはどのような状態か理解できている。 ・熱量の保存について実験を通して、理解できている。 【思考・判断・表現】 ・エネルギーは相互に変換されることを実験を通して考えている。 ・仕事による熱の発生について、実験を通して考えている。 ・ジュールの実験にも触れ、仕事と熱量が比例関係にあることを説明できる。 ・電流の仕事により熱が発生することと、その発熱量はジュールの法則に従うことを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱機関について、実験を通して主体的に学び、得た熱量のすべてを仕事に変えることはできないことを説明しようとしている。 ・複合サイクル方式やコージェネレーションシステムなど、エネルギーを効率的に利用する技術があることを深く調べ、まとめようとしている。	○	○	○	12
3 学 期	自然景観と自然災害 【知識及び技能】 ・地震発生のしくみを理解する。 ・火山噴火のしくみについて理解する。 ・マグニチュードと震度の違いを理解する。 ・風化、侵食、運搬の3作用を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・マグマの性質と溶岩の噴出量によって、火山の大きさや形が変化することを学習させる。 ・火山活動によって引き起こされる災害について学習させる。 ・ハザードマップを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・風化・侵食・運搬の作用によって、山地、河川ぞい、平野ではそれぞれ特徴的な地形が形成されることを理解しようとする。 ・土砂災害を引き起こす現象の種類と危険性の高い地形との関係について理解しようとする。	【指導事項】 ①日本列島とプレート ②地震のしくみと地震活動 ③地震による災害 ④マグマがつくる火山と景観 ⑤火山がもたらす恵みと災害 ⑥水のはたらきと自然景観 ⑦土砂災害と洪水 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末	【知識・技能】 ・地震発生のしくみを理解できている。 ・火山噴火のしくみについて理解できている。 ・マグニチュードと震度の違いを理解できている。 ・風化、侵食、運搬の3作用を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・日本列島がプレート境界に位置することから、プレート境界にそって多くの地震が発生することを説明できる。 ・プレートの運動によって高くなった山は、流れる水のはたらきのよって低くなることを理解できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地震によって発生する災害やその危険性について、意欲的に考えようとしている。 ・火山は災害を引き起こすだけではなく、温泉や鉱物資源など私たちの生活に恵みをもたらしていることを理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	課題研究 【知識及び技能】 自然や生活の中から疑問を発見させ、そのテーマについて調べていく方法を学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】 調べたことをまとめ、発表する技術と方法を学ばせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを相手に正しく効果的に伝えることの大切さを考えさせる。	【指導事項】 各自、時事的な科学トピックを課題研究し、クラス発表する。 【教材】 ・教科書 ・授業プリント ・一人1台端末	【知識・技能】 自然や生活の中から疑問を発見し、そのテーマについて調べ、深く理解する。 【思考・判断・表現】 知りえた情報をわかりやすく整理し、原稿にまとめることができる。また、他者に簡潔に説明し、内容を効果的に伝えることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の課題に対し、関心を持って調べ、課題解決に向け意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	合計						78

年間授業計画 新様式例

足立 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科 保健体育 科目 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組 ・ C 組

教科担当: (A組: 澤野、北川、益田) (C組: 澤野、北川、益田)

使用教科書: (大修館 現代高等保健体育)

教科 保健体育

の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・多様な体つくりの運動を考え、実践する力を身につけること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・手軽な運動、体動的な運動など、運動の内容や方法を自分で考えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「体つくり」の意義を理解し、自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする態度を養う。	・オリエンテーション ・体育理論 ・体つくり運動 ・体力テスト	【知識及び技能】 ・多様な体つくりの運動を考え、実践する力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・手軽な運動、体動的な運動など、運動の内容や方法を自分で考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「体つくり」の意義を理解し、自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	5
	球技(ゴール型・アルティメット) 【知識及び技能】 勝敗を味わい、技術の名称や行い、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安定したディスク操作と空間を作り出すなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。	①エンドゾーン内にパスをコントロールすること。②味方が操作しやすきパスを送ること。③守備者とディスクの間に自分の体をいれてパスをキープすること。④ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れること。⑤パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。⑥ゴールとディスク保持者を結んだ直線上で守ること。	【知識・技能】 ①アルティメットの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができる。③安定したディスク操作やエンドゾーン前での攻防を展開するためのディスク操作の技術を身につけることができる。④体力和技術の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができる。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができる。③チームで作戦や戦術を遂行し、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。④体力や技術の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①分組した役割に主体的に取り組む。練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。②競技の特性に応じた役割を理解し、うえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすること。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を誉めるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。				
2 学 期	実技テスト			○	○	○	2
	球技(ネット型・バドミントン) 【知識及び技能】 勝敗を味わい、技術の名称や行い、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたシャトル操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、シャトルをねらった場所に打つこと。②シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③ネットやラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①バドミントンの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができる。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができる。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができる。③チームで作戦や戦術を遂行し、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。④体力や技術の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①分組した役割に主体的に取り組む。練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。②競技の特性に応じた役割を理解し、うえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすること。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を誉めるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	31
3 学 期	実技テスト			○	○	○	2
	球技(ネット型・卓球) 【知識及び技能】 勝敗を味わい、技術の名称や行い、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技術で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとする。健康・安全を確保することができるようにする。	①サーブでは、ボールをねらった場所に打つこと。②ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。③ネットやラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。④ラリーの中で、見方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。⑤連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと。	【知識・技能】 ①卓球の技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。②ゲームのルール、試合方法や審判や運営の仕方など、競技会の行い方を理解することができる。③役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をゲームで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を見つけ、これまで学んだ知識や技能を活用して、課題解決に有効な練習方法を選択したり、課題を解決するための練習計画を立てることができる。②練習やゲーム時に、よりよいマナーやプレイができ、健康や安全を確保する活動ができるように、自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができる。③チームで作戦や戦術を遂行し、仲間と話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。④体力や技術の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームの行い方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①分組した役割に主体的に取り組む。練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。②競技の特性に応じた役割を理解し、うえで、安全に留意して実施するとともに、フェアなプレイを大切にゲームをすること。③一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間を誉めるとともに、仲間へ助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	11
3 学 期	陸上競技			○	○	○	5
	【知識及び技能】 ・自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競走したりすることができること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールやマナーを大切にしようとする。②、自己の責任を果たそうとする。③、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切に使用すること。④、健康・安全を確保する態度を養う。	・シャトルラン ・持久走 ・体育理論	【知識及び技能】 ・自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競走したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた取り組みを工夫し、自己の考えたことを他者に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルールやマナーを大切にしようとする。②、自己の責任を果たそうとする。③、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切に使用すること。④、健康・安全を確保する態度を養おうとしている。	○	○	○	78
実技テスト				○	○	○	2
							合計
							78

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 保健体育 科目 保健

教 科：保健体育 科 目：保健

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者：（A組：北川） （C組：北川）

使用教科書：（大修館 現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し、技能を習得している。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現している。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目	指導内容	評価基準	知	思	学	配当 時数
1 学期	1 単元「現代社会と健康」 健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。	ガイダンス		【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。 ・健康問題の解決に役立つ知識を身につけているか。	○	○	○	1
		1. 健康の考え方と成り立ち	わが国の現在の健康水準や健康問題の変化、および今日の健康課題について学ぶ。健康の成立要因をふまえて、自分なりの健康のとらえ方について考える。		○	○	○	1
		2. 私たちの健康のすがた			○	○	○	1
		3. 生活習慣の予防と回復	生活習慣病の種類とその要因について学ぶとともに、予防、早期発見、個人や社会の対策について考える。		○	○	○	1
		4. がんの原因と予防	わが国の死因の第1位となっているがんについて、その種類、原因、予防、治療について学ぶとともに、社会的対策の現状と必要性について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 ・健康問題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。 ・身近な生活の中の健康問題に気付いているか。 ・健康の大切さを理解しているか。	○	○	○	1
		5. がんの治療と回復			○	○	○	1
		6. 運動と健康			○	○	○	1
		7. 食事と健康	運動、食事、休養・睡眠といった生活習慣が、生活習慣病の予防をはじめ、健康の保持増進に大きく関連していることを学ぶとともに、人々が適切なライフスタイルを身につけるための対策を考える。		○	○	○	1
		8. 休養・睡眠と健康			○		○	1
		復習・考査準備		【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。				1
		定期考査			○	○	○	1
		答案返却・復習					○	1
2 学期	1 単元「現代社会と健康」 健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。	9. 喫煙と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用が心身にもたらす健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題と社会問題を改善するための、個人や社会の対策について考える。	【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。 ・健康問題の解決に役立つ知識を身につけているか。	○	○	○	2
		1 0. 飲酒と健康			○	○	○	2
		1 1. 薬物乱用と健康			○	○	○	1
		1 2. 精神疾患の特徴			○	○	○	2
		1 3. 精神疾患の予防	おもな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健の課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について考える。	【思考力、判断力、表現力等】 ・健康問題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。 ・身近な生活の中の健康問題に気付いているか。 ・健康の大切さを理解しているか。	○	○	○	1
		1 4. 精神疾患からの回復			○	○	○	1
		1 5. 現代の感染症			○	○	○	1
		1 6. 感染症の予防	新興感染症や再興感染症といった現代の感染症の現状と今日的課題、予防対策について学ぶ。また性感染症・エイズの実態と課題について、日本および世界の現状を学ぶ。また感染症予防について、個人や社会の対策について考える。		○	○	○	1
		1 7. 性感染症・エイズとその予防			○	○	○	2
		1 8. 健康に関する意思決定・行動選択	健康の保持増進のための環境づくりについて説明できるようにする。そのための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学ぶ。また環境づくりには、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりが重要であることを学ぶ。	【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。	○	○	○	1
		復習・考査準備						1
		定期考査			○	○	○	1
		答案返却・復習					○	1
	2 単元「安全な社会生活」 安全な社会づくり、応急手当について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。	1. 事故の現状と発生要因	事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していることを学ぶ。また事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境整備などが必要であることを学ぶ。	【知識・技能】 ・健康を保持増進するためにの基本的事項について理解しているか。 ・健康問題の解決に役立つ知識を身につけているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康問題の解決のために、学習したことなどを参考に考えているか。 ・身近な生活の中の健康問題に気付いているか。 ・健康の大切さを理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・意欲的に学習に取り組んでいるか。	○	○	○	2
		2. 安全な社会の形成			○	○	○	2
		3. 交通における安全			○	○	○	2
		4. 応急手当の意義とその基本	けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようにする。		○	○	○	2
		5. 日常的な応急手当	また、心肺停止状態の人の命を救うために行う心肺蘇生法の意義と方法を学び、実習を通して正しく実施できるようにする。		○	○	○	1
		6. 心肺蘇生法			○	○	○	2
		復習・考査準備						1
		定期考査			○	○	○	1
		答案返却・復習・まとめ	答案返却 答え合わせ 3 学期学年振返り				○	1
								合計 39

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

单位数： 2 单位

の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身につける。

り、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

する心情を育むとともに感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現するための技能として、まず楽譜を読む力を養い、その知識を具体的に表現できる力を身につける。	より良い表現・自分がやりたい表現をめざして試行錯誤する中で他人の表現を鑑賞したり修正をしながら自分の表現を完成させていく。	今までの自分の愛好する音楽だけではなく、自分の心の引き出しを増やし、いろいろな種類の音楽に興味を持てるようにする。

[illegible]

足立 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ C 組

教科担当者：（A組：大塩 ） （C組：大塩 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 光村図書 美術 1 ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的にあらわすことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
1 学 期	A 題材 観察力を身につけよう （鉛筆デッサン） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求し表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○鉛筆グラデーションの練習（明暗） ○鉛筆デッサン（質感・立体感・形） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品 ・書画カメラ	○				【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求しあらわすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近なものを見つめ、主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴をもとにして創造活動に取り組むことができる。	○	○	○	14
	B 題材 色や形で感情を表現しよう （モダンテクニック） 【知識及び技能】 ・モダンテクニックについての各技法についての知識・理解を深める。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組もうとしている。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化しようとしている。	・指導事項 ○モダンテクニックの各技法の演習（ドリップング、デカルコマニー、フロッターージュ、ウェット・イン・ウェット、スクラッチ、パチック） ・教材 ○鉛筆、消しゴム、画用紙、参考作品、アクリルガッシュ、クレヨン、のり等描画用具 ・書画カメラ		○		○	【知識及び技能】 ・モダンテクニックについての各技法についての知識・理解を深めることができる。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や形態などの表現を工夫し主題を追求して創造的にあらわすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の思いや感情から主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に、自分の思いや感情などをもとにした表現の創作活動に取り組んでいる。 ・主体的に、他者の作品のよさや意図を感じ取り、言語化することができる。	○	○	○	13
	C 題材 本物そっくりに挑戦 （張り子） 【知識及び技能】 ・張り子について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解する。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	・指導事項 ○張り子の制作 ○石のスケッチ ○アクリルガッシュの使い方 ・教材 ○鉛筆、消しゴム、参考作品、アクリルガッシュ、のり、色鉛筆、カッター、和紙など ・書画カメラ	○				【知識及び技能】 ・張り子について、その成り立ちや歴史を知り、その表現を理解している。 ・意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、主題を追求して創造的にあらわすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、単純化や省略、強調、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	19

[illegible]

足立 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術（書道） 科目 書道Ⅰ

教科： 芸術（書道） 科目： 書道Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ C 組

教科担当者：（A組：入山 ）（C組：入山 ）

使用教科書：（ 光村図書 書Ⅰ ）

教科 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わったり捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	学	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 書写から書道へ 【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○指導事項 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 ・臨書・鑑賞・創作の理解 ・用具用材の理解 ・それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈					【知識及び技能】 ・書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができている。 ・主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができている。				6
	B 文字の造形を学ぶ【楷書】 【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○指導事項 書風の違いを理解させる。 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて ・牛橛造像記 ・鄭義下碑 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品					【知識及び技能】 ・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。				10
	C 古典を生かした創作 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。	○指導事項 楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方 ○教材 大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、字書					【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。				11

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語（英語） 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組 ・ C 組

教科担当者： （A組：α佐藤、β伊藤） （C組：α佐藤、β伊藤）

使用教科書： （三省堂 Vista English CommunicationⅠ）

教科 外国語（英語） の目標：

- 【知識及び技能】 外国語特有の音声・アクセントや語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。これらの知識を、聞く、読む、話す、書くことに用いて実際のコミュニケーションの場面で目的や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。聞き手、読み手、話し手、書き手に伝えようと主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	学	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	A Get Ready 1～4 【知識及び技能】 アルファベット、単語を読んで書けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 辞書を引く際、単語の意味を予想しながら引けるようにする。教室内外英会話をし、他者とやり取りをする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやり取りを通じ、知識の習得・定着に努めている。	・指導事項 ○アルファベット・単語の書き方の復習 ○英語の学習用辞書引き ○教室内外の英会話	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 アルファベット、単語を正しく読み、書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 辞書を引く際、単語の意味を予想しながら引くことができる。教室内外英会話をし、他者とやり取りができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に会話活動に参加し、他者とのやり取りを通じ、知識の習得・定着に努めている。	○	○	○	7
	B ののちゃんの英文法 【知識及び技能】 中学校英文法の基礎の確認 【思考力、判断力、表現力等】 基本パターンを用いながら、自分自身の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信する。また周りの生徒は発表者の意見や考えを共有する。	・指導事項 ○中学校における英文法の基礎の確認 ○基本フレーズを用いた自分のことに関する発表	○	○		○	○	【知識及び技能】 中学校英文法の基礎を理解し、使いこなすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本パターンを用いながら、自分自身の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の考えを発信することができる。また他者に発表者の意見や考えを共有することができる。	○	○	○	12
	C Lesson 1 : Color of Spring 【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて文の書き換えができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に色の文化との結びつきや、世界各地への文化の広がりについて考えさせる。グループ活動において他者の考えを共有する。	・指導事項 ○be動詞、一般動詞の現在形 ○be動詞、一般動詞の現在形の書き換え	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて文の書き換えができる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に色の文化との結びつきや、世界各地への文化の広がりについて考えることができる。グループ活動において他者の考えを共有することができる。	○	○	○	7
	定期考査		○	○			○		○	○	○	1

2 学 期	D Lesson2 : Dick Bruna 【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の過去形の形、語尾変化や発音に注意させる。疑問文、否定文への書きかえができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の過去形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に芸術への理解や社会貢献について考えさせる。グループ活動において他者の考えを受容する。	・指導事項 ○be動詞、一般動詞の過去形 ○be動詞、一般動詞の過去形の書きかえ	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 be動詞や一般動詞の過去形の形、語尾変化や発音が正しくできる。疑問文、否定文への書きかえができる。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞や一般動詞の過去形を用いて、身近な様子や状況を描写し、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に芸術への理解や社会貢献について考えることができる。グループ活動において他者の考えを受容することができる。	○	○	○	9
	定期考査		○	○			○		○	○	○	1
	E Lesson3 : Interesting Sports 【知識及び技能】 現在進行形、過去進行形を正しく作らせる。また、それらを疑問文、否定文に書きかえができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 現在進行形、過去進行形を用いて、現在、過去の状況を描写し、相手に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に新しいスポーツについて学び、それに対する自分の考えを育み他者と共有する。	・指導事項 ○現在進行形、過去進行形 ○現在進行形、過去進行形の書きかえ	○	○	○		○	【知識及び技能】 現在進行形、過去進行形を正しく作ることができる。また、それらを疑問文、否定文に書きかえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在進行形、過去進行形を用いて、現在、過去の状況を描写し、相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に新しいスポーツについて学び、それに対する自分の考えを持ち、他者と共有することができる。	○	○	○	16
	定期考査		○	○			○		○	○	○	1
3 学 期	F Look & Learn 1 【知識及び技能】 言語材料を体系的に整理させる。 【思考力、判断力、表現力等】 持ち物や有名人について発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の好きな有名人について語れるようにする。	・指導事項 ○代名詞、基本文型、肯定文、否定文、疑問文、命令文	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 言語材料を体系的に整理することができる。(代名詞、基本文型、肯定文、否定文、疑問文、命令文) 【思考力、判断力、表現力等】 持ち物や有名人について発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自分の好きな有名人について語ることができる。	○	○	○	6
	G How about this one? 【知識及び技能】 買い物での客、店員のやり取りを英語で行う。 【思考力、判断力、表現力等】 買い物において客、店員の立場で自分なりの対応を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に買い物において客、店員の立場を演じる。	・指導事項 ○場面設定に応じた受け答え	○	○	○		○	【知識及び技能】 買い物での客、店員のやり取りを英語で行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 買い物において客、店員の立場で自分なりの対応を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に買い物において客、店員の立場を演じることができる。他者の活動に対し、感想を述べるなど活動に参加することができる。	○	○	○	13
	定期考査		○	○			○		○	○	○	1
	H Take a Break! 【知識及び技能】 疑問詞を用いた表現What 〜?を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 疑問詞を用いて、相手とやり取りをして自分の考えを伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 4コマ漫画を通して短い英文で表現している内容を主体的に理解しようとする。また、それに対する面白さを他者と共有する。	・指導事項 ○基本文型、疑問文 ○動名詞、助動詞の書き換え	○	○	○		○	【知識及び技能】 疑問文、平叙文の違いに注意し、使いこなすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の単語を用いて相手に考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 疑問文とその答え方を通して4コマ漫画の面白さに気づき、それに対する自分の意見を持ち、他者と共有することができる。	○	○	○	4
												合計
												78

足立高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 商業 科目 ビジネス基礎

教科： 商業 科目： ビジネス基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 C 組
教科担当者：
使用教科書：（ 実教出版 ビジネス基礎 ）
教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネス基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当 時数
1 学 期	第1章 商業の学習とビジネス 商業の学習及びビジネスの概要について理解させる。 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会で健全で持続的な発展と関連付けて見ていさせる。 ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組ませる。	・指導項目 1. 商業を学ぶ重要性と学び方 2. ビジネスの役割 3. ビジネスの動向・課題 ・プリントを用いた講義 ・端末で企業や商品、ビジネスなどの調べ学習等	【知識・技能】 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネス全般について理解しているか。 【思考・判断・表現】 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題と、経済社会の持続的な発展と関連について考えているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスの基礎的な事項について学ぶことに、主体的かつ協働的に取り組んでいるか。			○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第2章 ビジネスとコミュニケーション 第3章 経済と流通の基礎 ビジネスに対する心構えについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。 経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解させる。 経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に主体的かつ協働的に取り組ませる。	・指導項目 1. 信頼関係の構築 2. コミュニケーションの基礎 3. 情報の入手と活用 ・指導項目 1. 経済の基本概念 2. 流通の役割 ・プリントを用いた講義 ・端末で企業や商品、ビジネスなどの調べ学習等	第2章 【知識・技能】ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけているか。 【思考・判断・表現】ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおける他者への対応について考えているか。 【学びに向かう力、人間性等】情報の入手について主体的に取り組む、活用・評価・改善を考えているか。 第3章 【知識・技能】経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解しているか。 【思考・判断・表現】経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えているか。 【学びに向かう力、人間性等】経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支えるための学びに主体的かつ協働的に取り組んでいるか。			○	13
	定期考査			○	○		1

2 学期	第4章 さまざまなビジネス 物流活動、金融と保険の働きや仕組み及び合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしているシステムについて理解させる。	・指導項目 1. 流通を支える活動 ・プリントを用いた講義 ・端末で企業や商品、ビジネスなどの調べ学習等	【知識・技能】 ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。				○	15
	定期考査				○	○		1
	第5章 企業活動の基礎 第6章 ビジネスと売買取引 企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解させること。 取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。	・指導項目 1. 企業の形態と組織 2. マーケティングの重要性と流れ 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動に対する税 6. 雇用 ・指導項目 1. 売買取引と代金決済 ・プリントを用いた講義 ・端末で企業や商品、ビジネスなどの調べ学習等	【知識・技能】 企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解しているか。 【知識・技能】 取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 企業活動および取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を対応策を考えているか。 【学びに向かう力、人間性等】 取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいるか。				○	16
定期考査				○	○	○		1
3 学期	第7章 ビジネス計算 第8章 身近な地域のビジネス ビジネス計算について経済社会における事例と関連付けて理解させる。 身近な地域のビジネスについて理解させる。 身近な地域のビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組ませる。	・指導項目 1. ビジネス計算の方法 ・指導項目 1. 身近な地域の課題 2. 身近な地域のビジネスの動向 ・プリントを用いた講義 ・端末で企業や商品、ビジネスなどの調べ学習等	第7章 【知識・技能】 ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 第8章 【知識・理解】 さまざまな地域のビジネスについて理解している。 【思考・判断・表現】 身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				○	17
	定期考査				○	○	○	1
								合計
								78

[illegible]

單位數： 1 單位

)

の目標：

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

の目標：

[illegible]